

令和4年(2022年)8月31日付け札幌市告示第3493号の内容に係る訂正について、下記のとおり告示する。

令和4年(2022年)9月9日

札幌市長 秋元 克広



記

1 訂正する内容

札幌市告示第3493号別表の工事番号「22(市)第0001号」工事名「篠路駅東口土地区画整理事業 道路予定地整備ほか工事」にかかる設計図書の一部を下記のとおり訂正し、入札日等を別表のとおり変更する。

2 設計図書の訂正箇所

別紙のとおり

3 担当部局

〒060-8611

札幌市中央区北1条西2丁目

札幌市財政局管財部契約管理課工事契約係

電話011-211-2442

電子入札

(入札日等訂正版)

0	調達案件番号	2209000111	
1	工事（業務）番号	22（市）第 0001 号	
2	工事（業務）概要	工事（業務）名	篠路駅東口土地区画整理事業 道路予定地整備ほか工事
		工事（履行）場所	札幌市北区篠路3条7丁目ほか
		工事（業務）内容	【篠路3条7丁目68番地先】 車道整備工（路盤t=55cm 舗装t=8cm）200m <sup>2</sup> 歩道整備工（路盤t=27cm As舗装t=3cm）150m <sup>2</sup> 【篠路4条7丁目94番地先】 歩道路盤工（路盤t=42cm）300m <sup>2</sup> 【篠路3条7丁目88番地先】 下水道管布設工（D=300）L=25m 下水道管ほか撤去工（D=300ほか）一式
		工期（履行期間）	着手の日から令和5年01月28日まで
6	入札参加資格の申請及び審査	審査方式	事後審査方式（入札参加資格の確認は落札を保留して行う。）
		申請書等提出期限（日）	開札日の翌日まで（審査順1位の落札候補者のみ）
		落札結果通知予定日	令和4年10月13日
11	入札及び開札の日時・場所等	電子入札案件区分	電子入札
		入札期間（年月日）	令和4年09月26日（08時00分～20時00分） 令和4年09月27日（08時00分～17時00分）
		開札予定日時	令和4年09月28日 09時30分
		場所	札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市役所本庁舎14階財政局入札室
		提出方法	電子入札システムによること。
17	施行担当課及び電話番号	施行担当課	都）区画整理事業課
		電話番号	011-211-2657

## 1 工期設定について

工期：令和4年10月11日から令和5年1月28日まで

工期には施工に必要な実日数(実働日数)以外に以下の事項を見込んでいる。

① 準備期間	30日間
② 後片付け期間	20日間
③ 雨休率(実働工期日数に休日と悪天候により作業が出来ない日数を見込むための係数 実働日数×係数)	0.7

※施工時期、工事期間等による補正について

本工事は冬期日数を令和4年11月1日～令和5年1月28日と設定し、積算を行っている。

## 2 建設リサイクル法に関することについて

当工事の請負代金額が500万円以上の場合、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」が適用され、契約書に解体費用等の明記及び内容協議等の手続きが必要となるので留意すること。

## 3 中間技術検査について

中間技術検査の実施の有無及び対象の場合の実施詳細については、別途監督員の指示による。

## 4 安全対策（現場委員会）について

工事施工にあたり、安全管理を図る目的で発注者及び受注者相互に協力し、「工事安全管理現場委員会」（以下「現場委員会」という。）を設置するものとする。また、施工計画書には必ず工事安全管理現場委員会組織図を添付すること。

(現場委員会における必須事項)

現場委員会は、次の事項を検討し改善を図る。

- 工事着手時に施工計画書に基づき、工事の安全管理について協議を行う。
- 工事着手時は特に下記の事項に留意して工事の安全対策を行う。
  - (イ) 工事現場内の整理、整頓に関する確認
  - (ロ) 作業従事者及び使用機器類の保安の確認
  - (ハ) 工事現場周辺の歩行者の安全対策及び仮設通路の確保
  - (ニ) 工事現場内外に搬出する車輛等による災害防止対策
  - (ホ) 土砂等の崩壊事故の防止対策
  - (ヘ) 仮設構造物の安全確認
  - (ト) 地下埋設物の確認及び事故防止対策
  - (チ) 架空線又は高圧線の保全の確認
  - (リ) 緊急事態発生時の体制と対策
- 工事期間中において、上記事項について安全対策を実施し、その評価を適宜行う。
- 安全パトロールにおいて、「指導」と評価された場合は、改善策について会議を行う。その他の評価工事についても、さらなる安全の確保のため、会議を適宜行う。
- その他必要事項においては、それぞれの現場で検討する。

### 1 工期設定について

工期：令和4年10月18日から令和5年1月28日まで

工期には施工に必要な実日数(実働日数)以外に以下の事項を見込んでいる。

① 準備期間	30日間
② 後片付け期間	20日間
③ 雨休率(実働工期日数に休日と悪天候により作業が出来ない日数を見込むための係数 実働日数×係数)	0.7

※施工時期、工事期間等による補正について

本工事は冬期日数を令和4年11月1日～令和5年1月28日と設定し、積算を行っている。

### 2 建設リサイクル法に関することについて

当工事の請負代金額が500万円以上の場合、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」が適用され、契約書に解体費用等の明記及び内容協議等の手続きが必要となるので留意すること。

### 3 中間技術検査について

中間技術検査の実施の有無及び対象の場合の実施詳細については、別途監督員の指示による。

### 4 安全対策（現場委員会）について

工事施工にあたり、安全管理を図る目的で発注者及び受注者相互に協力し、「工事安全管理現場委員会」（以下「現場委員会」という。）を設置するものとする。また、施工計画書には必ず工事安全管理現場委員会組織図を添付すること。

(現場委員会における必須事項)

現場委員会は、次の事項を検討し改善を図る。

- 工事着手時に施工計画書に基づき、工事の安全管理について協議を行う。
- 工事着手時は特に下記の事項に留意して工事の安全対策を行う。
  - (イ) 工事現場内の整理、整頓に関する確認
  - (ロ) 作業従事者及び使用機器類の保安の確認
  - (ハ) 工事現場周辺の歩行者の安全対策及び仮設通路の確保
  - (ニ) 工事現場内外に搬出する車輛等による災害防止対策
  - (ホ) 土砂等の崩壊事故の防止対策
  - (ヘ) 仮設構造物の安全確認
  - (ト) 地下埋設物の確認及び事故防止対策
  - (チ) 架空線又は高圧線の保全の確認
  - (リ) 緊急事態発生時の体制と対策
- 工事期間中において、上記事項について安全対策を実施し、その評価を適宜行う。
- 安全パトロールにおいて、「指導」と評価された場合は、改善策について会議を行う。  
その他の評価工事についても、さらなる安全の確保のため、会議を適宜行う。
- その他必要事項においては、それぞれの現場で検討する。

# 1次単価表（金抜き）

単価適用年月	2022.08
歩掛適用年月	2022.08
労務調整-超過-規制	1.000-00000002000

名称	規格	単位	式	数量	摘要
組立マンホール工(市場単価)	組立1号マンホール				1
組立マンホール設置工(市場単価)	1号(900mm) 3m以下 4箇所以上 無 無	箇所		4	単- 116号
マンホール底部工(市場単価)	組立1号マンホール 塩ビ管(雨・合)有 切込砕石(40) クロー型山積0.28m3 排出ガス対策型(第2次基準) 小型構造物 人力打設 混合B C-4 一般養生 無し	箇所		4	単- 117号
マンホール連結工(新設マンホールに接続)	組立1号マンホール 既設鉄筋コンクリート管(外圧管) 300mm	箇所		4	単- 118号
既設本管閉塞	モルタル練	箇所		2	単- 119号
マンホール連結工(新設マンホールに接続)	組立1号マンホール リブ付硬質塩化ビニル管 300mm 副管設置無し サドル型マンホール継手有り	箇所		8	単- 120号
組立マンホール材料費(1号型)(市場単価)	T-25鉄蓋 穴有 断熱蓋無し リブ付塩ビ管 φ300mm 2.01m	箇所		1	単- 121号
組立マンホール材料費(1号型)(市場単価)	T-25鉄蓋 穴有 断熱蓋無し リブ付塩ビ管 φ300mm 1.93m	箇所		1	単- 122号
組立マンホール材料費(1号型)(市場単価)	T-25鉄蓋 穴有 断熱蓋無し リブ付塩ビ管 φ300mm 1.87m	箇所		1	単- 123号
組立マンホール材料費(1号型)(市場単価)	T-25鉄蓋 穴有 断熱蓋無し リブ付塩ビ管 φ300mm 1.85m	箇所		1	単- 124号
コンクリート空積割増	コンクリート空積割増1回当たり : 2.72×コンクリート空積割増加算額	回		2	単- 125号
計					

# 1次単価表 (金抜き)

単価適用年月	2022.08
歩掛適用年月	2022.08
労務調整-超過-規制	1.000-0000002000

名称	規格	単位	式	数量	摘要
組立マンホール工 (市場単価)	組立1号マンホール				1
組立マンホール設置工 (市場単価)	1号(900mm) 3m以下 4箇所以上 無 無	箇所		4	単- 116号
マンホール底部工 (市場単価)	組立1号マンホール塩ビ管(雨・合) 有 コンクリート再生砕石 DID 有12.0km以下 クローラ型山積0.28m3排出ガス対策型(第2次基準)小型構造物 人力打設 混合B C-4 一般養生 無し	箇所		4	単- 117号
マンホール連結工(新設マンホールに接続)	組立1号マンホール 既設鉄筋コンクリート管 (外圧管) 300mm	箇所		4	単- 118号
既設本管閉塞	モルタル練	箇所		2	単- 119号
マンホール連結工(新設マンホールに接続)	組立1号マンホール リブ付硬質塩化ビニル管 300mm 副管設置無し サドル型マンホール継手有り	箇所		8	単- 120号
組立マンホール材料費(1号型)(市場単価)	T-25鉄蓋 穴有 断熱蓋無し リブ付塩ビ管 φ300mm 2.01m	箇所		1	単- 121号
組立マンホール材料費(1号型)(市場単価)	T-25鉄蓋 穴有 断熱蓋無し リブ付塩ビ管 φ300mm 1.93m	箇所		1	単- 122号
組立マンホール材料費(1号型)(市場単価)	T-25鉄蓋 穴有 断熱蓋無し リブ付塩ビ管 φ300mm 1.87m	箇所		1	単- 123号
組立マンホール材料費(1号型)(市場単価)	T-25鉄蓋 穴有 断熱蓋無し リブ付塩ビ管 φ300mm 1.85m	箇所		1	単- 124号
コンクリート空積割増	コンクリート空積割増1回当たり : 2.72×コンクリート空積割増加算額	回		2	単- 125号
計					